



城南家保ニュースR6. 6月号

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814

E-mail : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

家畜衛生推進会議を開催しました

各地域の市町村、畜産関係団体、獣医師会等の参集のもと、令和6年5月21日（火）に芦北地域振興局で芦北地域家畜衛生推進会議を、5月30日（木）に城南家畜保健衛生所で人吉・球磨地域家畜衛生推進会議を開催しました。

会議では、令和5年度の当所事業の実績と令和6年度の計画を説明するとともに、家畜伝染病予防法第5条に基づく乳牛のヨーネ病検査や飼養衛生管理基準調査等の事業に関する協力を依頼するとともに家畜伝染病発生状況、病性鑑定実施状況、肉用牛繁殖検診成績、EU向け輸出牛肉における動物用医薬品の使用規制変更、獣医療広告制限の見直し等に関する情報を提供しました。

また、各地域振興局が開催する畜産関係事業担当者会議と同日開催であったため、高病原性鳥インフルエンザ、豚熱、口蹄疫等、特定家畜伝染病の危機管理に関しては地域振興局と連携して説明を行いました。家保からは各疾病の発生状況及び初動防疫の流れを、地域振興局が後方支援についての説明を行い、地域における関係機関との連携及び防疫体制を確認、強化することができました。



（人吉・球磨地域家畜衛生推進会議の様子）

栃木県と岩手県の大規模農場で 相次いで豚熱が発生しました

5月26日（日）に栃木県那須塩原市で、5月28日（火）に岩手県洋野町で豚熱が確認されました。国内での発生は、2月16日の栃木県栃木市以来で、今回の発生で92例目となります。

今回発生した2農場とも、飼養頭数が15,000頭以上の大規模農場であったため、農林水産省から豚熱ウイルスの早期封じ込めのため他都道府県に防疫員の派遣要請があり、本県からも派遣防疫員が発生農場における防疫作業を行っています（派遣職員は帰熊本後、十分なダウンタイムを確保していますので、本県での業務に交差汚染リスクはありません）。

今回の発生原因の究明は疫学調査後になりますが、現在野生イノシシの活動が活発化する時期であり、これによる豚熱ウイルスの拡散が懸念されています。本県ではこれまで野生イノシシの感染は確認されていませんが、本県にイノシシを介して侵入する可能性は常にあると考えられます。

豚及びイノシシ飼養農家及び関係者の皆様におかれましては、特に次の項目に留意し飼養衛生管理基準の徹底及び豚へのワクチン接種により、発生防止に努めていただくようお願いいたします。

- (1) 野生動物との接触防止措置（防護柵、防鳥ネットの補修等）
- (2) 農場に出入りする人・車両の消毒の徹底
- (3) 衛生管理区域及び畜舎毎の専用の服及び長靴の着用
- (4) 海外渡航の自粛及び海外からの入帰国者の農場への出入自粛
- (5) 毎日の健康観察による異常豚の早期発見・早期通報
- (6) 食品残渣を含む飼料を給与する場合の適切な加熱処理
- (7) 接種対象豚への適時・適確なワクチン接種

近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地（国）	畜種	発生日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	インド	家さん	令和6年4月21日
		中国	家さん	令和6年5月11日
		韓国	肉用あひる	令和6年5月23日
		台湾	家さん	令和6年4月～5月
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	豚	令和6年5月21日
			野生いのしし（43）	令和6年4月～5月

令和6年(2024年)6月1日現在

家畜防疫員のヒトコト

猛暑の予感をひしひし感じており、当家でも早めのエアコンを設置したところです。

5月号でもお伝えしましたが、家畜への暑熱対策をお早めに・・・夏が怖い！（S・H）